

高総文祭壮行式 校長挨拶

文化部の活動は日頃あまり他の生徒には見えません。今日は日頃の活動や大会について、各部活の様子を紹介して、激励の言葉に代えます。

音楽部 東北大会、国体の開閉会式でのコーラス、盲学校でのボランティアなどの合間にある高総文です。どれだけ忙しいかと思います。私は皆さんの歌声が大好きです。素直にまっすぐ届くきれいな言葉や旋律はきっと多くの人に届くと思います。

書道 指導している藤原先生が皆さんのことをものすごく褒めてました。どんな難しい書で「やりたい」「やれます」と言って挑戦する姿を。それぞれが選んだ言葉に向き合って、何度も何度も書いていましたね。

美術 立体7作品、平面4作品を出品するそうです。教師に頼るのではなく、それぞれが表現したいものを自分たちなりに精一杯制作していますよね。作品が皆さん達の主張だし、言語なのだと思います。

自然科学部 今まで実験してきた「信号反応」についてまとめて発表するのですよね。数学が得意な生徒が多く、お互いに実験の合間に問題を解き合っていること。皆さん達の大事な時間なのだと思います。きっと会場では同じような仲間に出会えます。高総文祭楽しんで。

吹奏楽 今回は生徒指揮者での演奏に挑戦するのですよね。2年生を中心に、もっとよくしよう、挑戦しようとして進んで来た皆さん達のことを顧問は誇りに思っていました。

放送部 朗読、アナウンス、ラジオと制作や練習大変だと思います。1年生で不安が沢山あるはずですが、それでもみんな協力しながら進んでいる皆さんは素敵ですし、ここから2年、3年と成長して行く姿も本当に楽しみです。そして、いつも学校行事を支えていただき、ありがとうございます。

写真 8人、11作品の出品ですね。日常の断片を切りとったり、何かの主張を映し出したり、様々な題にそれぞれの個性が出ています。出品後は是非校内でも展示してください。

文学部 たった一人の部員の萩原さん。沢山の本を読み、言葉を大切にしてきたあなたにしか紡げない言葉があるのだと思います。出品される中で私が好きなのは「自転車で日だまりひとつ潰すたび、風がいつそう光る八月」感性と表現力がとっても素敵です。

JRC 2年生2名。壁新聞の制作にこれから取りかかるのですよね。JRC は青少年赤十字の略です。災害や戦争が多発する現代において、赤十字の精神と実践ほど大切なことはありません。ボランティアを中心にとっても学びのある部活なのです。

箏曲 2年生一人の演奏。そのことがとにかくすごいです。一人になっても部活を続けていること、それを発表する勇氣。私は誇りに思っています。「空を推す」という曲での出場ですね。どうか頑張ってください。

将棋 男子2人、女子1人の混合ペアで団体戦に、加えて個人戦にも参加します。大会は一日に何局も打つのだそうです。最後まで何が起こるか分からない緊張が強いられます。頭も身体も疲れる頭脳のスポーツです。新たな対戦相手との戦いも沢山の学びになるはずです。

文化部活動は青森東高校の大きな特徴の一つです。生き生きと活動する文化部は本校の大事な宝です。高総文祭でのそれぞれの部活の活躍を皆で応援しています。